

実施日程	都道府県	実施校	地元主催者
10月25日 (金)	秋田県鹿角市	鹿角市立大湯小学校	秋田県教育委員会
10月28日 (月)	宮城県登米市	登米市立米谷小学校	宮城県教育委員会 / 登米市教育委員会
10月29日 (火)	岩手県滝沢市	滝沢市立滝沢東小学校	岩手県 / 滝沢市
10月30日 (水)	宮城県大崎市	大崎市立三本木中学校	宮城県教育委員会 / 大崎市教育委員会
10月31日 (木)	宮城県柴田町	柴田町立西住小学校	宮城県教育委員会 / 柴田町教育委員会
11月1日 (金)	宮城県角田市	角田市立金津中学校	宮城県教育委員会 / 角田市教育委員会
11月5日 (火)	北海道旭川市	北海道旭川西小学校	北海道教育委員会
11月7日 (木)	青森県弘前市	弘前市立新和小学校	青森県教育委員会 / 弘前市教育委員会
11月8日 (金)	青森県弘前市	弘前市立船沢中学校	青森県教育委員会 / 弘前市教育委員会
11月11日 (月)	岩手県盛岡市	岩手県立盛岡聴覚支援学校	岩手県

デフ・パペットシアター・ひとみの紹介

日本にただひとつ、耳の聞こえない人と聞こえる人が一緒に人形劇を作っているスロの劇団です。

1980年に劇団創立。今年は劇団ができてから38年目です。

北海道から沖縄まで、日本全国で公演しています。

海外公演も多く、チェコ、フランス、ポーランド、エジプト、イエメン、アラブ首長国連邦、バーレーン、カンボジア、ホンコン、韓国、ニュージーランド、アメリカなどで公演してきました。



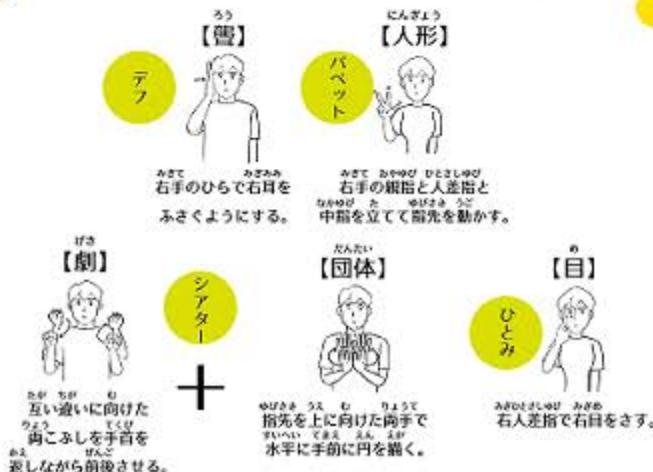
出演者

榎本 トオル
鈴木 文
加藤 望明
増子 仁美
やなせ けいこ
香岡 修

スタッフ

構成・演出：くすのき 薫
美術：太田 拓美 音楽：田丸 智也 / やなせ けいこ
照明：後藤 義夫 音響スラン：森下 勝史
音響操作：中山 知二 舞台監督：榎本 トオル
演出助手：木俣 かおり マイム指導：チカパン
スライド写真：古谷 均
スロプログラム・デザイン：宿谷 と美 / ミナミデ タカユキ

デフ・パペットシアター・ひとみの手話



知っていますか？

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演事業



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI



ぼくすいーず

はこ / BOXES

じいちゃんのオルゴール



撮影：古屋 均

文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演事業

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



大きい「はこ」 小さい「はこ」
つめたい「はこ」 ぬくもりの「はこ」
すべては「はこ」からはじまった…。

ものがたり

ひとりの男の子がおさななじみの女の子に恋をしました。
でも、気持ちを伝えるのはたいへんで、なかなか言い出せません。
ある日、男の子はオルゴールをおくります。
男の子の気持ちを聞いた女の子。
心をよわせたふたりはとても幸せになりました。

そんなとき、戦争がはじまります。
男の子は兵隊になり、ふたりははなればなれに。
戦争は家族にたくさんのつらい思いをさせました。
けれど戦争は終わり、男の子は帰ってきます。

愛し合う男の子と女の子は夫婦になります。
娘が生まれ、ふたりはお父さんとお母さんになりました。

家の中には新しい物がどんどんふえます。
洗濯機やテレビ、冷蔵庫、扇風機……。
家族3人はいつも一緒に、楽しく暮らしていました。

やがて、娘は大きくなって結婚し、男の子が生まれます。
ふたりはおじいちゃんとおばあちゃんになりました。
新しい家には新しい物がますますふえます。
家族のくらし方も昔とは変わって、パソコンで仕事におわれたり、
テレビやゲームに夢中になったり……。
家族はバラバラになってしまったのでしょうか？
そんなある日、おばあちゃんが取り出したものは……。

うれしいことや楽しいことだけでなく、かなしいことやつらいことも、
生きていく中で、家族はたくさん出会います。
みなさんのひいおじいちゃんやひいおばあちゃんの
若い頃から今の時代までの、ひとつの家族のおはなしです。



今日のお芝居は、みなさんが知っている、または見たことのある人形劇と少しちがう
と思います。言葉をほとんど使いません。人形はでてきますが、それ以外にでてくる
ものは「はこ」だけです。でもきっと、お話はわかると思いますし、「はこたち」は色々
なものに見えるはず。みなさんの持つ「想像力」という力によって、そう見えるの
です。コナンのように「すいり」をする。科学者のように「すいさつ」をする。
ほかの人を思いやる。これらは全て、この「そうぞうりよく」によって生み出されます。
なぞなぞをといたりするのも、そうですね。近ごろでは、サッカーでも「そうぞうりよく」
のあるプレーというのが大事なようです。
それでは、「そうぞうりよく」をいっぱい使って、このお芝居を楽しんでください。

そうぞうりよく
くすのき燕
(演出家)



知っているかな？

洗濯機と手回し脱水機

洗濯物をローラーにはさんで
くるくる回して水をしぼります。



黒電話

ダイヤルに指を入れてまわし
電話をかけます。



このお芝居には昔懐かしい
機械が出てきます。

蓄音機

ハンドルをくるくるまわすと
レコードから音楽が鳴ります。



きみも手話を
やってみよう。

【自分】



人差指で胸を指さす。

【お父さん】



右人差指でほおにふれ
親指を出す。

【お母さん】



右人差指をほおにふれ
右小指を出す。

【家族】



左の屋根形の下で
右手の親指と小指を振る。

【ありがとう】



右手を左手甲に軽く当て
拜むようにする。

【一緒】



両手の人差指を
左右から合わせる。

【楽しい】



両手のひらを胸の前で
交互に上下させる。

引用 『新 日本語-手話辞典』 2011年6月10日発行
編集 社会福祉法人全国手話研修センター 日本語研究部
監修 米川明彦
発行 一般財団法人全日本ろうあ連盟
制作・販売 中央法規出版株式会社
イラスト ふるはしひとみ
*全日本ろうあ連盟および全国手話研修センターの許可を受けて
います。ただし、この資料の複製は禁止されています。